

上野殿御返事

弘安四年九月二〇日 六〇歳

いゑのいも一駄・ごぼう一づと・大根六本。いもは石のごとし、ごぼうは大牛の角のごとし。大根は大仏堂の大ききのごとし。あぢわひは切利天の甘露のごとし。石を金にかうる国もあり、土をこめにうるところもあり。千金の金をもてる者もうえてしぬ、一飯をつとにつゝめる者にこれをとれり。経に云はく「うえたるよにはよねたつとし」云云。一切の事は国により時による事なり。仏法は此の道理をわきまうべきにて候。又々申すべし。恐々謹言。

弘安四年九月廿日

日 蓮 花 押

上野殿御返事